

## 令和7年度第3回学校運営協議会 会議録

期日：令和8年2月19日（木） 14：00～15：20

場所：本校会議室1

出席者：委員8名、学校職員7名 計15名

### 1 開会【副校長】

### 2 挨拶【会長】

忙しい中、お集まりいただき感謝。今年度第3回目の協議会。今年度の取組の報告になる。来年度の学校運営にもつながるので、ご意見等いただけたらと思う。

### 3 学校経営の取組状況について 【校長】

- (1) 3年次は全体の5分の4が進路決定している。残りは受験に励んでいる。生徒の進路決定に向けて職員も頑張っている。1・2年次は2期末考査が終わったところ。感染症の流行もあり追考査が終わったばかり。現在は落ち着いている。
- (2) 今年度、総合科ならではの探究的な学びを総合学科発表会で見ることができた。3年生の発表を1、2年が見た。次につながればと思う。部活動も、フェンシング部、卓球部女子、ソフトテニス部女子が全国大会に出場した。頑張っている。
- (3) 学校経営計画について、今年度の重点目標6つに関するアンケート結果がまとまっている。目標設定数値を5%上げている。以前は保護者のアンケートだったが、昨年度から生徒へのアンケート結果を反映させている。
- (4) 高校入試について、本校は定員200名を超える志願者がいる。1倍を超えている学校は少ない。そういう意味で評価してもらっている。しかし、自転車事故、SNSトラブル、いじめ事案、不登校などの問題も存在している。未然に防げるよう努力している。
- (5) 来年度に向けて。資料に令和8年度の教育課程を掲載している。出生数減少により、岩手県の高校の再編計画があがっている。私立高校無償化によりどうなっていくかはわからない。その状況で、学校の魅力を高めることを前向きにとらえている。学校運営協議会の力がそういう点で必要である。

### 4 各分掌の取組状況等について

#### 【総務課】

#### (1) 会議資料について

会議資料を各分掌から集めるのが大変。職員会議などの会議資料をPDF化したものを編集できるソフトがほしい。

#### (2) PTA 総会について

PTA 総会は600人中100人の参加。吹奏楽部、太鼓道場部の演奏があった。最後の部活動見学はあまり需要がなかったかもしれない。

#### (3) 研修旅行について

研修旅行の行先は5月のPTA総会までに決めたい。

(4)eメッセージについて

eメッセージで生徒の欠席連絡をしている。一か月以上先のは予約できない。

(5)120周年記念式典について

今年度の夏から動き出している。令和9年度に式典を開催する。

**【教務課】**

(1) 教育課程、シラバスについて

生徒に周知している。教職員の研修では、互見授業や外部の研修に取り組んでいる。評価の在り方が生徒の学力につながっていけるよう引き続き努力したい。

(2) 家庭学習の習慣化について

生徒の学力向上。教務課として打つ手が足りなかった。学習時間調査をしてフィードバックなどできたのではないか。

(3) 総合学科関連について

発表会は好評をいただいた。来年も同時期に文化センターで企画している。

**【生徒指導課】**

1年間生徒の主体的な活動を引き出そうとしていろいろやってきた。朝の交通安全の声掛け運動など、警察と連携するなど活動している。一方、情報モラル、SNSの使用に関するトラブルもあった。県の方から生成AIの使用についての注意、呼びかけなどもある。今月下旬に情報モラルの講演会の予定。今年度2回目。1、2年生が対象となっている。

(1)行事について

二高祭校内公開は市民文化センター使って3回目。今後も続けていきたい

(2)いじめについて。

認知するしないにかかわらず、職員で情報共有をはかりながら生徒対応を進めている。なにかあればすぐに動いている。いじめアンケートも年4回している。

(3)通学時のヘルメットの着用について

本校は次年度4月1日から通学許可要件とする。罰則規定はない。

**【進路指導課】**

現在、3年次188名中、152名が進路先決定。進路未決定者は頑張っている。総合型選抜、推薦入試等の一般公募型に113名が合格している。

(1)進路指導の充実について

3分の2くらいが年内入試を希望している。大学、専門学校も年内入試にシフトしている。早期の進路指導が必要ではないかと思う。

(2)進学指導について

長期休業時の課外について、目的があいまいになっている。次年度は冬季休業中の課外は、進学を希望する者に限定し、進学指導として課外授業を実施したい。

(3)1、2年次の意識づけについて

毎年7月に進路ガイダンスがある。一方で、1年次の「産業社会と人間」では上級学校の講習があり、進路ガイダンスと重複するため、次年度は一本化し、「産業と社会」で実施する。

#### (4)ベネッセの classi について

まだ活用しきれていない部分もある。進路課だけで手に負えない。教務課その他分掌と手を組んで活用していきたい。

### 5 学校評価について 【副校長】

#### (1)生徒による評価について

評価項目 17 項目中、「そう思う」「おおむねそう思う」の肯定的評価の合計値が 80% 以上となった項目は 16 項目であった。そのうち 12 項目は 90%以上となった。

評価項目 1 の「学校の教育方針を生徒に周知している」についての肯定的評価は、83.4%と前年度の 78.8%から 4.6%向上した。学校ホームページ等で広く周知した他、教室等に掲示して周知を図った効果が得られた可能性もある。

評価項目 8 の「制服や他の規則など学校の決まりについておおむね納得できる」についての肯定的評価は前年度 67.7%から 76.8%に 9.1%向上した。規則等について、女子制服スラックスの採用など時代の変化に対応している。また、自転車通学用ヘルメットの着用についても段階を踏みながら進めている。引き続き、規則やきまりについて必要に応じて見直し等の検討を行っていく。

#### (2)保護者評価について

前年度と比較し、22 項目において「良好」「やや良好」の肯定的評価の合計値が 80% を超える項目が 2 つ増え 17 項目に向上した。

「学校は生徒が健康や体についての悩みを先生に気軽に相談できるようにしている」については、保護者の 73.0%に対し、生徒の肯定的評価は 90%を超えている。

#### (3)教職員評価について

高評価である「あてはまる」「ややあてはまる」の肯定的評価の合計値が 80%を超える項目が 22 項目中 21 項目と前年度と同じであった。

「学校は地域住民の学校経営参加を実践している」の肯定的評価が前年度の 67.9%から 62.1%に下降した。学校運営協議会等の取組について、職員会議、学校ホームページ等で周知しているところであるが、引き続き情報発信を継続していく必要がある。

### 6 質疑応答及び意見交換

#### 【委員 A】

・生活指導について、全国いじめ発生認知と比較したら認知が少ないのはなぜか。二高での取り組みはどのようなものか。

(生徒指導課) 担任が、保護者とも関わりながらなど、解決する方向の対応をしている影響もある。認知は少ないが、対策委員会を開き検討を重ねて進めている。

(校長) 他の学校と変わったことはしていない。積極的に認知もしている。作戦会議など

もしている。年度によって動きがある。生徒の主観によるものなので年ごとに変わる。

- ・アンケート結果について、教職員と生徒と保護者のアンケート結果に認識の差がある。ずれている共通項目のリスト化ができればいいのではないか。比較するのがわかりやすいと認知の誤差が減るのでは。

#### 【委員B】

- ・大学入試について、ほとんどが推薦なのだが、逆にどんな子が一般入試なのか。どのあたりが分かれ道か。基準があれば教えてほしい。  
(進路指導課) 学校側からどっちにしろと言うことはない。内規で評定の基準がある。それに満たないものは総合型に出す。大学側からの指定もある。評定に届いていないこと知っていて自ら一般でチャレンジしたいという生徒もいる。
- ・「なにが学力なのか？」というのを、こういう入試スタイルを見ていると思う。学力が多様化している。進路決定している子どもたちを見ていると、意外な生徒が意外な進路先に行っている。予想外の大学に合格しているなど。学力の計られ方について、教えていて先生方は困ったりしていないかなと思った。

#### 【委員C】

- ・アルバイトについて、許可制ということだが、今のいまの高校生はどんなアルバイトをしているのか。  
(生徒指導課) 飲食店、スーパー、さまざまある。最近、一関市内は全国チェーン店が増えた。人手は必要とされている。部活動が任意加入になっているので、それが影響しているのか。本校は夏冬休みにアルバイト許可制にしている。無断アルバイトも問題になっている。飲食店が多い。働かせる側の都合だが、就業時間も課題。
- ・自分は新聞配達をしていたが今はいるか？  
(生徒指導課) 新聞配達はいない。年賀状の郵便配達や仕分けなどもなくなった。仕分けは北上の郵便局でしかやっていない。

#### 【委員D】

- ・学校の日頃の実行に感謝。働き方改革について、宮城の高校の例を聞いたことがある。参考にしてほしい
- ・PTA総会後の部活動公開で参加者が少ないというのは自分もそう感じた。
- ・自転車のヘルメット着用義務化はPTAも協力していきたい
- ・SNSの不適切画像拡散について、生徒が認識をする機会があればよい。生徒を守れることにつながるのではないか。
- ・アンケート結果について、保護者は学校の取組を認識できてないから、あまり良い解答になっていない項目があると思う。保護者は、学校の様子を生徒からしか聞いておらず、学校の取組が見えていない。指標ということで推移を使うくらいでいいのでは。

#### 【委員A】

- ・重点項目やそれぞれの活動の様子を聞いて、感動しているところがある。確かなキャリア

アの構築について、二高のOBがどういう企画ができるのか。現役の大学生について、大学ができることがあるのではないか。自分の生き方を醸成する機会になればいい。OBや現役の大学生の話を知りたいければ協力できる。声をかけてほしい。

**【委員B】**

- ・本年度お疲れ様でした。求められる力が多様化しすぎていて、先生が大切にしたいところと生徒の需要にばらつきがあるかも。昔とは違う。今のこどもたちは基本的なことができていないなど、そういうところがあればしっかり指導してほしい。

**【委員C】**

- ・今年度第1回の会議で校内のwifi環境が良くないとあったが、その後どうなったか。配付のPTA会報の内容が良かった。読み応えがあった。

(校長) wifiについて、県の担当者から改正して良くなっていると聞いている。

**【委員E】**

- ・総務について、PTA役員の方が熱くなっていくと、もっと活動が充実していくと思う。
- ・教務について、生徒の学校評価が高い。学力がついているということ、生徒も保護者も肯定している。きちんと進めている証拠だと思う。適切に反映されて学力が高まっていくといい。
- ・生徒指導について、反省内容の項目に具体的なことが書かれている。こういう項目内容をはじめてみた。具体的な評価に落とし込んでいる。未加入者の部員数の数字が変わっていることについては、どういうことか？

(生徒指導課) 年度途中で、転部だったり退部したりがある。

- ・進路指導について、総合学科の特徴は多様化の世の中でマッチしている。ただ進学希望者の望みをかなえるのが大変そうだ。部活動の両立も頑張っているということがわかった。
- ・アンケート結果について、学校経営シラバスを教室にも掲げているのに驚いた。先生だけでなく生徒も自分の学校の目指している先がわかってよい。開かれた学校づくりの項目について、わたしたちも地域に発信していきたい。資料を見ていると、事務室も物価上昇のなかで頑張っている。生徒にも届いていると思う。学校評価をきちんとしている。項目も具体的でわかりやすいなかでやっている。今後も人気ができる学校になっていくと思う。

**【委員F】**

- ・各課の反省会資料に△評価があったりするが、どういった傾向で△なのかというところの分析を継続して働きかけてほしい。
- ・教員と保護者の認識の違いについて、裏を返すとそれだけ問題がなくこどもが学校生活を送れていることだと思う。先生と相談しているというのも子どもから聞いている。先生たちが生徒の気持ちに寄り添っているのはわかっている。学校は発信しているが、保護者が受け取りきれない。進路のことで相談すれば、先生たちは応えてくれている。

数値が低くても、保護者と接点がないのではなく、事前に生徒と対応している証拠なのではないか。

- ・今年度重大な事故等なく学校運営してもらった。クマの出没等の突発的な対応もしてもらった。今後もよろしく願いたい。

#### 7 連絡 【副校長】

- ・来年度の学校運営協議会について。来年度も3回予定。来月上旬に意向の調査を行うのでよろしく願いたい。

#### 8 閉会 【副校長】

- ・委員の皆様からの貴重な多くのご意見に感謝。来年度に活かしていきたい。